

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【藤沢東】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	自主防災の前に町内自治とは何か。市民に認識教育が必要。市で行っていただきたい。家庭を守るように地域、市、県、日本をどう守るか。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	パン等レトルト食品、冷暖房機器
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	・補助金を増額してほしい。(町内会の平等では購入できない) ・可能であれば年に一度、利用限度額と対象品目などが分かる資料を送付いただけると助かります。
3 各地区総合防災訓練について	
	・学童・児童の参加。 ・要支援者の救護や避難訓練の実施。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・自主防災訓練時にタオルかけによる安否確認訓練を実施 ・要支援者宅への訪問
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	・自治連、社協、行政など縦割りなので責任の所在がはっきりしない以上、事を出しにくい。国レベルの問題なのは承知しているが、藤沢市は様々な分野で存在感のある実績があるのだから何か検討してほしい。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	・各区ごとの被害等の確認と声掛け、特区(大清水中付近)の住民への声掛けなど。 ・玄関先に黄色のタオルをかけ、安全確認を12組長に確認報告させた。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・大雨警報に関する取組について、今後町内として検討する余地あり。(役員会で協議しています) 町内独自の防災講演会は行っているが、他町内会、自治会の防災に対する活動状況を通じて、交流を深めたいので紹介してほしい。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【藤沢西】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	・町内会単位で講話などをしていただけるとありがたい ・役員の不足、平日在宅者は後期高齢者がほとんどである。二世帯住宅が少ない。若者がいない。60代、70代の役員がいない
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	ソーラー式発電機、蓄電機、発電機用燃料
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	町内会で防災資機材が必要なものを検討のため、藤沢西部町内会自治会連絡会研修会に参加する。防災産業展2025東京ビッグサイト(東京国際展示場)1/29見学資料入手しました。
3 各地区総合防災訓練について	
	マンネリ化、2に関係するが被災後にほんとうに役立つ有益な訓練は何なのか、一般的訓練からもっと現状を見据えての訓練内容を望む
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・はちまきを使った安否確認訓練の実施。 ・誰がどの要支援者を誘導するか決めている ・民生委員の見守り、近所、班長役員の見守り
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	・取組自体には賛成。ただし自治会で取り扱うだけの体制ができていない。 ・町内会の会員数が少ないため、町内会の実態が把握できています。 ・避難支援は余裕がある自治体でないと難しい。住人の6割以上が高齢者である私たちの地区では難しい(町内会の運営すら難しい)
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	マンション管理組合と連携した浸水対策を実施(防水板の設置、機械式駐車場の浸水対策)
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・防災訓練に一部の方は毎年参加しているが、全般に防災意識が薄い。特にマンション居住者(町内会の90%) ・コロナ渦以後の組織の弱体化縮小化高齢化人手不足等により防災活動が停滞する中でどう建て直していくのかが課題。危機意識の向上を図るにはどうしたらいいか検討中 ・助け合いは理想であるが現実的には難しいので被災者本人が当事者として自分である程度対策できるように備蓄準備することが必要と考えている。その備蓄を調達する際にある程度の補助金が出るとありがたいです。そのほか、被災者の情報を集約するシステム構築が必要と考えており、配給物資の受け渡しのスムーズ化や持病に対する対応、けがの有無、行方不明者の人数特定などを行なえるシステムの構築をできればと思います。もし、そのような予定があれば参加させていただきたく思います。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【鵜沼】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	輪番制で構成する役員会組織であるため、経験を積み重ねることで練度をあげることはが難しい。大雪で近所同士が助け合って道路の除雪をし、初めてお隣の人と顔なじみになったなど、日頃からの顔合わせと、親密度を向上させることが防災に役立つと思います。「自助」をいかに充実させ、その延長上で町内会がどんな「働き」をするか、どんなことができるのか模索していきたいと思います。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	・AEDを町内で設置しているが、リース料の補助は受けられないか。 ・資機材ではないのですが、当自治会には、そもそも資機材を補完する共有の場所(倉庫等)がありません。保管場所が確保できれば資機材を調達したいと思います。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	機材を保管する場所がないので活用しにくい。各世帯に配布して各自で保管していただくということでもよろしければ、トイレ処理袋セットなどを購入する資金に活用したい。
3 各地区総合防災訓練について	
	茅ヶ崎市の地区総合防災訓練は若い人たちも含めて毎年多くの市民が参加しているみたいですが、藤沢市は自分が住むマンションも含めて年々参加者が減少しているように思うので、その違いを比較検討をした方がよいと思います。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・タオルを使った安否確認訓練を年1回実施。要支援者宅への訪問年1～2回実施。 ・安否札を全戸に配布し、安否札掲示訓練を実施。安否札を出しているところは元気・安全だという基準を元に、安否札の掲示が何枚かを各班長さんに見回ってもらっています。市に配慮希望を出しているお宅には伺って声掛けするようにしています。
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	近所付き合いの希薄化などの変化により、隣人、地域内の個人毎の事情が見えにくくなっており、サポートの内容や対応に苦慮する。(助けを必要とする人が見えない、サポートする人が見当たらない。)
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	・以前大雨の時1階にあったエレベーターが水害で止まってしまったので必ず一番上の14階に上げるようにしています。 ・当町内会は引地川に接しており、浸水の危険のある世帯向けに町内会館を開放。また自家用車が浸水する危険のある世帯に対しては、町内会館の庭を開錠した。町内会館への避難はなく、一部住民は自家用車を知人宅へ避難したとの声があった。 ・近隣の高齢者及び避難行動要支援者宅に電話にて安否確認を行った。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	市内一律ではなく、各地区各町内の災害状況に合わせた対策を検討していただきたい。そのための市民センターであると思いますので、市本部とより連携を密にしていきめ細かな対応を日頃よりシミュレーションして支援を積極的に行って欲しい。 また、情報共有は非常に重要ですので、LINEやメールによる全体一斉同報やインターネットダウン時に備えた簡易無線(300MHz帯5W出力)による市民センターと町内会との双方向通信ネットワークの構築も検討して欲しい。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【村岡】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	自主防災組織のメンバを固定化して今以上に活動を促進していく体制を作っていきたい。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	防災備蓄品、水等への補助
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	必要な物資について思いつかないことが多い。メーカーなどと協力しておすすめセットなどのパンフを作っていたら、整備しやすいのでは？
3 各地区総合防災訓練について	
保存食や災害時支給食の試食、避難所運営マニュアルに沿った避難者受け入れ訓練の実施	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・タオルを使った安否確認訓練の実施 ・組長に各組に在住する要支援者に、どんな支援が必要か聞き取りをしている。 ・土砂災害警戒時の連絡体制づくり ・名簿作成(更新)時に、要支援特記事項を記入してもらい、把握できるようにしている。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	・支援にあたっての専門知識を持った人の指導が必要である。 ・避難行動要支援者に対して自治会や個人が支援することは責任が重すぎると思う。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	・土砂災害警戒区域在住の要支援者に連絡体制をとった。 ・避難所開設の情報を自治会内へ情報共有。(会長～副会長等の執行部～各班への連絡網活用)
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
・実際問題として、避難所に収容できる人数は限られているため、どのような時に避難し、どのような時は自宅待機していた方が良くみたいな指針があると良いかと思います。 ・台風の際に避難所開設の連絡を電話で回しましたが、ほぼ繋がらず、全く意味がなかったです。電話での連絡網は今の時代、個人情報の観点や家電がなくスマホのみの家庭も増えているので、非現実的に思いました。(スマホの方は基本知らない方からの電話にも出ない方が多いように思います。)その為、藤沢市のLINEの活用をもっと周知させるなどスマホでより情報が届くような仕組みを作った方が若い世帯の人たちにも情報が浸透すると思います。そしてスマホの扱いに慣れてない高齢者にのみ、引き続き電話での連絡網、または他の手段を考えるなどをしていく必要があると思いました。	

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【六会】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	
	・各防災訓練においてまず参加者を増やすことが重要であり、訓練内容を50%訓練50%レクリエーションとしてファミリーで楽しく参加できるよう。キッチンカーの利用レンタルトイレ(工事現場用)活用など必要では？
	・防災の必要性はわかっているものの、自治会内での高齢者の割合が高く、活動の促進が難しい。役員のなり手も毎年の問題。若い世代は共働きが多く、活動の参加も難しい。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	
	食料品、消耗品も加えてほしい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	
	購入先に県内業者のみだけでなく、ネット先も加えてほしい。
3 各地区総合防災訓練について	
	・開催場所が遠く、高齢者や脚が悪い人が訓練に参加し辛い
	・参加者が高齢化しているので各地区内で何かできないか考える必要があるのでは
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	
	・自治会長と民生委員が一緒に訪問している。班長にも支援者の情報は共有している。
	・要支援者宅への訪問、要支援者の近況の聞き取り。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	
	・制度の説明が充分でなく、毎年役員交代する自治会では、理解しづらい。個人情報の取り扱いについても、引き継ぎが難しい
	・要支援において重度の方等は自治会での支援が難しい、福祉事業者への委託が望ましい
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	
	避難所の開設と運営について、役員間で打合せを行った。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・自治会町内会ごとに意識レベルの差があると思うので一律化して欲しい。役員負担の大きい事案のため、簡素かつ効果的な方法があれば紹介して欲しい
	・住んでいる地域は川が近くにあるわけでもなく、避難対象外にもかかわらず、数名の独居の高齢者の方からTELや訪問があり、その都度「心配ありません」と対応しました。防災放送も聞き取りにくく、今の状況を判断すれば分かることも焦りや不安でパニックになりつつあったと思います。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【片瀬】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	防災訓練への参加への意識の高揚を図っているが、伸び悩みである。どのような方法がいいのか日々苦 労している現状である。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	保存水(10年保存)
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	機材等のハードを揃えただけでは不足で、ソフト(マンパワー、行動指針、日頃の整備など)面のバックアップ ができなくては宝の持ち腐れになる可能性がある。
3 各地区総合防災訓練について	
・参加型の訓練項目の充実がさらに進められるとよい。 ・地域の役割のローテーションを毎年行う	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・オレンジ色のバンダナを全加入者世帯に配布し、安否確認を実施する前に必ずマニュアル的なお知らせ を全戸に配布する。 ・今のところ要支援対象者リストを町内会長が保管しているのみなので具体的な展開にまで至っていない。
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	・当地区はマンション建設が続出しているため、町内会員の把握も難しいのが現状である。 ・避難行動要支援者ランク3(4名)の方に対するマンツーマンの体制を作りつつあり。ランク1、2の方はまだ 先の話。そもそも620世帯全体に避難の際の号令をかけるのは不可能で、優先度をつけるしかない。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	・年度初めに要支援者と支援者のマッチングができているので、分担して全世帯に連絡を入れた。不安に 思っていた高齢者からは後日「連絡をもらって嬉しかった安心した」との声多数。(電話または訪問) ・土砂災害警戒地区に住む会員宅を訪れ、状況の確認と避難について話し、意向を確認した。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
・役員の交代もあり、活動の継続が難しい。そもそも役員のなりてがなく、毎年毎年の大きな悩み事。 ・防災活動自体も負荷が大変多く、土日だけしか動けない役員が多い状態では、なかなか前に進まない。 ・地域の市民センターの防災担当者が毎年のように交代することに疑問と不安。避難所の設備、収納品の 機能が劣っている。避難所の設備の更新をお願いする(ゴザ→テント、段ボールベッド、マットなどへ)	

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【明治】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	メンバーの高齢化と会議の参加率低下
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	災害時に使用できるWi-Fiがあれば
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	藤沢市が監修する防災資材機材カタログを発行し、各自治町内会がそこから必要な物を購入できる事を選択肢の一つに加えると、補助金の利用が拡大すると思う。
3 各地区総合防災訓練について	
自衛で消火や倒壊家屋救出、濃煙体験、浸水歩行訓練などに関わることは稀であるため、災害後の避難で必要となる炊き出しや仮設トイレなどに焦点を当てて欲しい	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・黄色のタオルを使用し、安否確認訓練の実施 ・年齢、1人暮らし等の各条件別にソート可能なデータベースを構築し、訪問の優先(順位)を決めている。 ・令和5年は市の関連資料で勉強会や辻堂の会議に参加、今年はワーキングGを作り具体的な活動を推進していく計画です。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	・対象に支援者制度を熟知させる必要がある。本来支援を必要としない人が要支援になっていたり、またその逆も然り。支援が必要な人を取りこぼしてと感じる。 ・要支援者がこの制度をどれほど理解して、納得してもらえるのか、多岐にわたり努力が必要
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	避難指示発令後、直ちに町内会長より各組長に対して連絡し、組内に周知をお願いした。指示内容は避難指示が発令されたが、当町内会は洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域ではないので、すぐに避難する必要はないが、注意はしてくださいとお願いした。次の役員会にて連絡体制の確認を実施した。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
・防災のアナウンススピーカーの音が聞き取れません。何か鳴っていることはわかりますが内容が全く聞き取れません。 ・町内未加入者への扱いについて、災害初期にどこまで支援の工夫が必要か？指針があれば	

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【御所見】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	・毎年役員が変わるので、防災意識の浸透が希薄。南部(海側)地区に比べ、危機感が希薄
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	食料や水。石油ストーブや扇風機などの冷暖房機器。簡易型飲料水濾過装置
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	申請のハードルが高いのと手続きが面倒なので簡略化してほしい
3 各地区総合防災訓練について	
実際に災害が起こったときに役立つ内容にすべきである。形式的で不要な項目はやめたほうが良い。	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・車イスの購入 ・組単位(回覧を回す単位)での助け合いを第一としている。組内で誰が要支援者かを知り、助け合うこと、日頃の付き合いを大事にしている。 ・地区の民生委員・児童委員と情報共有をしている。年に1回打ち合わせを持っている。 ・入居者全員を対象の訓練実施、回覧、掲示でのお知らせをしています。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	・要支援者に必要性のアンケートを取るときは、自治会に入り、近所の交流することが最も重要なこと。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	・アンケートも必要であるが、各地域での話し合いを希望する。 ・高齢化により役員激減のため、活動の縮小。 ・毎年、想定外のことが多くなっています。各家庭での備蓄を2週間に呼びかけ、トイレ、電気の備蓄も呼びかけた方が良いと思います。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
・各自治会長は自治会の指示で大変ではないですか？避難施設が進みません。各自治会長が担当ではなく、避難施設防災の担当者だと良いと思う。 ・大規模な遊水池を限られた場所につくるのではなく、小規模な遊水池を多数(無数)つくってほしい。 ・毎年、想定外のことが多くなっています。各家庭での備蓄を2週間に呼びかけ、トイレ、電気の備蓄も呼びかけた方が良いと思います。	

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【遠藤】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	防災訓練内容がマンネリ化。毎年、少しずつで良いので新しい内容を入れたら良い
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	いろいろありますが、いかんせん保管場所が限られており、そこが(こちら側の)課題であります。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	今年、書類を受取って初めてそういう制度があることを知った。突然いわれても何を購入すべきなのか全くわからなかった。
3 各地区総合防災訓練について	
これまで石川小での避難訓練がなかったので、地区総合防災訓練が必要だったが、歩いていくには遠いせいか参加者が少ない。石川小での避難訓練が毎年行われるようになったら総合防災訓練はそれほど必要なくなる可能性がある。でも、内容は異なるので総合は総合で参加する方が良いかもしれない。	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・タオルを使った安否確認訓練 ・名簿にある方に会長交代のお知らせを配布
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	名簿を渡されても責任は持てない。そう思うと訪問できない。単純に全く知らない人の家いきなり行くのは気が引ける。ただ、その方たちの住所と状況は把握しているので、何かあった時に、余裕があれば声掛けすると思う。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	特になし
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
本市は比較的災害が少ないと思います。そのせいかいろいろ住民の皆様にお話ししてもあまり関心を持ってもらえない。住民の声より行政の大きな声で周知してほしい。	

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【長後】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	危機管理課に手助けして欲しい。自治会には専門家はおらず、知識も技術も足りない。基本的に無償ボランティアであるため、時間と労力をかけられず役員の知見は深まらない。勉強する機会、方法を提供して欲しい。他地区で開催の講演会に参加者枠の余裕があれば地区外でも受け入れるとか、活動内容を情報共有して学びに繋げるなど、取りまとめて調整して欲しい。地区防災協も素人かつボランティアの集まりのため、自治会への積極的な働きかけは望めない。災害時の近所の助け合いや避難行動要支援者対応を自治会員がやるためには、技術や能力が足りない。搜索、救助、障がい者対応方法の講習をして欲しい。消防の救急救命講習のように、体系立てて教えてもらえると良い。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	水、食料品、蓄電池(単体)
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	補助金を使い切ると次の補助金の支給までに三年間必要となるが、期間を短くして欲しい。継続的に今現在必要なものを買いたい。金額は1/3でも良いので、毎年補助金枠が更新されれば、買い物がしやすくなる。また、自治会内での議論も活発にすることになるため、防災意識の向上につながると思われる。制度の紹介のパンフレットなどに、合わせて先進自治会の事例を紹介してはどうか。何を購入してどのような活動に繋げているのかを知りたい。役員が一年交代の自治会では、何をどのように活用できるのか、わからないと思う。但し、沿岸地域と内陸地域では、防災の焦点となる活動が異なると思うので、その点も考慮した事例紹介が望ましい。
3 各地区総合防災訓練について	
	・自治会員、会員以外の人に参加してもらえる訓練を追加してほしい ・小学校のころから防災に関する意識を高める教育が必要であると思います。 ・少し変化あり、指定避難所ごとに集合し、防災訓練をする流れができつつある。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	当自主防災会では来年度から避難行動要支援者の取り組みを致しますがこの様な取り組みをして行きたいと思えます。それは、日頃から顔を合わせて安心できる民生委員の方と自主防災会の者達で家に伺い、災害時に近所に直ぐ支援に駆けつけられる身内の人がいるか、又は隣近所のお宅に普段から災害時の支援をお願いして置く事が出来るか、出来ない場合には我々が隣近所のお宅に伺い、出来るだけ支援をしてもらいたい旨を伝えたいと思えます。その他色々とは有ると思いますが、とにかく災害時ではみんなが被災者です。自主防災会が要支援者ひとり一人を助ける事は出来ません。行政に要支援者登録をしただけではだれも助けてくれません、要支援者自身が支援して欲しいと強く思う！その想いを普段から応援したいと思えます。この様な取り組みを防災訓練に取り入れればと思えます。
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	自治会に名簿を渡されるだけでは、どう活用したら良いのか分からない。又、要支援者を登録する際に、対象者が期待することと実際に行なわれることに、ズレがあると思われ、そもそものあり方や管理方法などを見直すべき。自治体が、もっと主導的に動かないと、いざという時に何も機能しないと思う。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	土嚢の用意。ハザードマップの指定区域ではないが、坂の下方で浸水しそうなお宅の要請があり、役員が付き添い市民センターに土嚢をもらいに行った。しかし、重すぎるため、高齢女性二人では必要な量を持ち帰り設置できず、持ち帰れたのは1個だけ。もしもの時のために水嚢での代替方法などをインターネットで調べ、共有した。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・このアンケートは、毎年行なっているように伺いました。結果集計後、何かに活かしてくださっているのでしょうか？是非何らかのフィードバックがあると嬉しいです。よろしくお願い致します。 ・年配者が多く、要支援者名簿を受け取っても面倒を見られない。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【辻堂】

1 自主防災組織の活動について	
1-6	自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。 年度初めに自主防災訓練の計画を立て、消防署に要請し、心肺蘇生法、水消火器訓練、車いす使用訓練、非常用発電機操作方法を年一回実施している。新年度組長は参加必須で開催し、ゆくゆくは町内会員全員が研修を受けることを目的としている。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2	対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。 食料の備蓄も必要
2-3	この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。 防災リーダー育成を支援してほしい
3 各地区総合防災訓練について	
	若い人の参加が見込めるように、企画してほしい
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5	貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。 ・個別面談時に、停電でも点灯するようなライト、携帯トイレ、停電でも医療器具が使えるようにポータブルバッテリーなどを個別に照会している。 ・自主防災訓練、地区総合防災訓練に参加を呼び掛けており、毎回障がい者と保護者に参加してくれています。 ・辻堂地区の個別避難計画の活動に沿って行っている。
4-6	本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。 ・要支援の個別避難計画作成にあたって、面談をしたことにより、気づいていなかったことを多く学びました。面談することについては、双方少し勇気のいることですが、要支援者から安心したという声を聞いて、やってよかったと思います。 ・支援者の名簿は自己申告なので、名簿にはないが支援が実際的に必要な方も有り、普段から気は配っている。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2	特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。 要支援1、2、3の方全員に電話で避難所開設を伝えた水位等の状況を説明したところ避難同行を希望する人はいなかった。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	障がい者が市民センターなど福祉避難所に一時避難した後のことが心配という方がおります。また給水車はいつごろ来るのか、救援物資は何日くらいに届くのか等、災害が起きてからの行政としての対応を具体的に知りたい。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【善行】

1 自主防災組織の活動について	
	1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
	活動の中で自分だけで気が付かない先進事例を紹介いただけるとありがたい
2 防災資機材購入に関する補助金について	
	2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
	発電機、金属製棚
	2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
	・補助金制度の活用条件として地元(市内)業者に限定されているため、安価で購入のため解除してほしい。 ・有効な制度です。活用しています。
3 各地区総合防災訓練について	
	・コロナ渦から回復に、従来の規模に戻りつつある。期待している。 ・炊き出し、テント泊の実施
4 避難行動要支援者に関する取組について	
	4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
	・安否確認訓練で要支援者宅へ訪問している。 ・タオルを使った安否確認訓練の実施 ・顔の見える関係、挨拶のできる関係づくりを推進。
	4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。
	要支援者名簿に記載された人に対しての緊急時の対応で1、具体的に誰が？2、どのように？3、何処へ？の取り決めが煮詰まっていない。自主防災会内部での話し合いを今後多く行わなければならないと痛感しています。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
	5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。
	特になし
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・地区が防災面から見て比較的安全な地域と見えて防災訓練への参加が年々減少している。参加者を増やす呼びかけの言葉がありましたら教えてください。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【湘南大庭】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	避難施設の訓練が住民参加型で行われていたが、近年は実施されず、参加自治会、職員のレベルダウンが発生しているのではないかと、組織の活動だけでなく、住民・地区全体の意識向上を市が主導で実施してもらいたい。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	デジタル小電力コミュニティ無線機またはIP無線の回線利用料補助制度
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	とても良い制度だと思う。ただ物を購入することは 維持管理が必ず発生するので 小人数住民の管理組合では人的、金額負担を考えると制度は中々使えない。
3 各地区総合防災訓練について	
	・デジタル小電力コミュニティ無線(トランシーバー)通信訓練や位置特定訓練 ・炊き出し訓練
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	・黄旗(ない場合はタオル)を使った安否確認を実施。個別避難行動計画に参画し、要支援者宅への訪問と災害発生時の避難方法などの聞き取りをし調査一覧を作成しました。 ・日、時間を決めて無事ですカードを各戸玄関ドア表に表示する ・防災トークアプリを使った訓練を実施(アプリを使いこなせていないが)
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	・自治会で年一度要支援者の調査を行い、名簿を作成している。ただし、どのように活用するかは不検討。名簿は自治会役員が所持。 ・災害発生時に停電等でエレベーターが使えなくなった場合、10数階の階段を使用することになるマンションでは、具体的にどのように要支援者をサポートしたら良いのか、出来れば市の指針を示していただけると有り難い。 ・障がい者→47世帯中11世帯、高齢者1人住まい→47世帯中13世帯、以上の内容なので、避難の支援が必要な人が多く、訓練等もできずに困っている状態です。
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	特になし
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	・能登地震並みの地震発生の時でも、藤沢市はここまで準備できている、安心してほしいとの情報発信を市民へ届けてほしい(食料他) ・発災時は地域市内に住む方を自治会加入、未加入で区別できない。よってもっと防災の観点から自治会へ加入を進めてほしい ・防災無線が聞き取りにくい、要支援者宅への聞き取り調査を行った際もほとんどのお宅で防災無線が聴き取れないという声がありました

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【湘南台】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	地区防災訓練、自主防災訓練も毎年同じ内容になってしまう
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	家庭内に置ける消化器
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	申請の手順が面倒。購入前の申請でなく、問い合わせ後購入した領収書から補助金を頂きたい。通るか通らないかは電話などの問い合わせで把握してもらい、償還払いで支援頂きたい。申請が面倒で資材購入がまま進まない現状もあると思います。
3 各地区総合防災訓練について	
内容が形骸化。阪神/東日本/能登等を踏まえ、地区特化型模擬避難所を設置し、より実践に近い体験型防災訓練を望みたい。	
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	
・自治会三役・老人会役員・民生委員による3か月に1回会議開催。要支援者名簿のよる現状確認。例：入居、入院、病状確認、家族(子供がたまに来ていた)、最近見ていない。老人会より情報入手、民生委員の情報入手等、情報交換をしていく。 ・民生委員の方との情報交換をしている。ただしセキュリティの関係上、文書化はしていない。 ・要支援者の安否確認をする担当者決めを実施	
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	
・安否確認の旗を各家庭に配布している。 ・訓練など行いたいとは常に思うが、担い手不足のため、厳しい	
5 8月29日から9月1日の大雨警報に関する取組について	
5-2 特に避難行動要支援者の支援に関する取組があれば、ご記入願います。	
湘南台文化センター内、各自治会の要支援を独自判断にて、湘南台小学校に場所を作り、自主避難した。	
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
とにかく役員、ボランティア不足です。手当を支給したくても資金がありません。自治会に共助を求められても荷が重すぎます。自助の啓蒙が精一杯です。	